

広報

No.112

TABAYAMA 丹波山



大きな自然のポケットです。
山の山の手。丹波山村。

平成18年2月

編集と発行 丹波山村役場総務住民課 山梨県北都留郡丹波山村890 TEL 0428-88-0211 FAX 0428-88-0207
E-mail info@vill.tabayama.yamanashi.jp URL http://www.vill.tabayama.yamanashi.jp/



おめでとう新成人

主な内容

- ・ 介護保険制度
- ・ 村議会
- ・ 成人式
- ・ 消防団出初式
- ・ お知らせ

人口と世帯
(17年12月末現在)

人口 836人
男 408人
女 428人
世帯 371戸

介護保険制度が改正されます

平成十二年度に始まった介護保険制度は、五年ごとに行われる制度の見直しにより平成十八年度から新しい枠組みでスタートすることになります。

今回の見直しは、「介護予防」「自立支援」の強化が特徴です。介護予防とは、できる限り要介護状態にならないようにする、たとえ要介護状態になってもそれ以上悪化しないようにする取り組みのことです。介護予防をすすめていくことによって自立支援を実現することができ、新しい介護保険制度の目標です。

新しい制度では、要介護状態により三つのサービスが用意されます。

地域支援事業の 介護予防サービス

介護保険の認定調査により「自立（非該当）」と判定された高齢者や介護は必要ないが生活機能が低下している虚弱高齢者

など、将来的に要介護状態になる危険性が高い者に対し、今よりも状態が悪くならないようにするために介護予防サービスを実施します。現在、四月からのサービスのメニュー作りをしています。

なお、丹波山村社会福祉協議会が実施している通所介護（デイサービス）の利用はできません。

介護保険の介護予防サービス（新予防給付）

介護保険の認定調査により「要支援1・要支援2」と判定された高齢者は、サービスの利用により心身の状態が改善する可能性が高いと判断される者で、丹波山村社会福祉協議会が実施している通所介護（デイサービス）で運動器の機能向上や栄養

改善、口腔機能の向上などのサービスを実施する予定です。また、訪問介護（ホームヘルプ）のサービスも利用できます。

介護保険の介護サービス （介護給付）

介護保険の認定調査により「要介護1から要介護5」と判定された高齢者は、介護保険のサービスによって、生活機能の維持・改善を図ることが適切と判断された者で、今までどおり丹波山村社会福祉協議会が実施している通所介護（デイサービス）や訪問介護（ホームヘルプ）などのサービスを利用できます。

丹波山村介護保険の姿

全国的に要介護・要支援認定者が増えています。丹波山村でも認定者数が増え、介護保険会計から給付される費用（介護保険給付費）も年々増加しています。介護保険給付費の十八%は六十五歳以上の方の保険料（第一号被保険者）でまかなうことになっています。

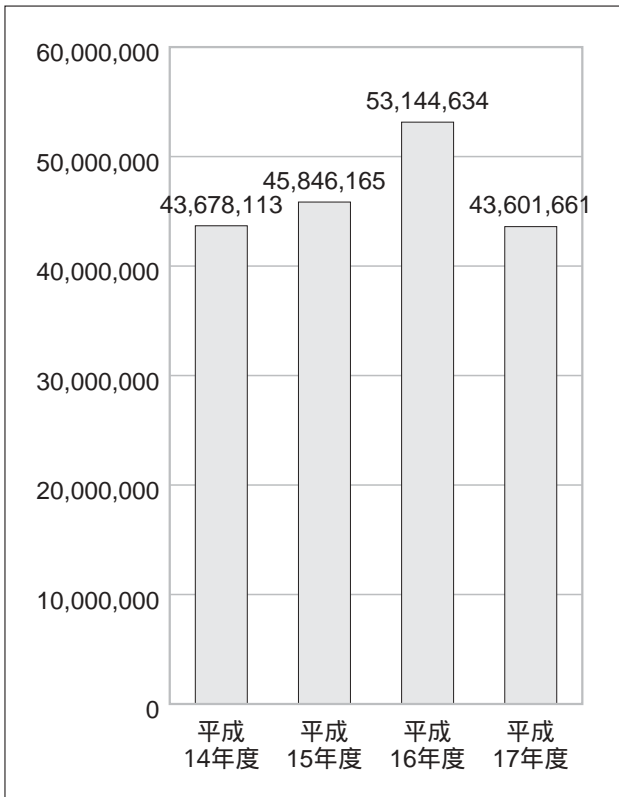
今後も施設入所者や居宅サービスを利用する認定者が増えることが予想されています。介護保険の見直しを急いでいます。介護保険はみんなで支えあう制度です。介護保険被保険者のご理解とご協力をお願いします。

第1号被保険者（65歳以上の方）の介護保険料は、年金から天引きされる方と役場から送付された納付書を持って金融機関で納めていただく方の2通りに分かれます。また、第2号被保険者（40～64歳の方）の介護保険料は、加入している医療保険（国民健康保険・健康保険組合・共済組合）の保険料と一緒に納められています。



介護保険給付費

(単位：円)

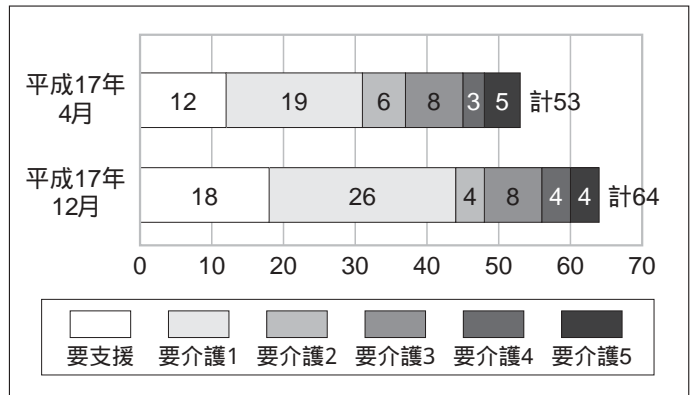


平成17年度は4月から12月までの分です。1ヶ月平均で4,844,629円の計算になります。この1ヶ月平均の保険給付額で計算すると平成17年度の保険給付額は5,800万円を超える計算になり介護保険会計が大変厳しい状況になります。

介護サービスには点数が設定されています。例えば、丹波山村のデイサービスを一回利用すると、要支援者は749点で7,490円になります。その1割(749円)を自己負担していただき、残りの9割(6,741円)を介護保険会計から保険給付費として負担しています。要介護1・2の方は886点で8,860円、その1割(886円)を自己負担していただき、残りの9割(7,974円)は保険給付費として負担しています。

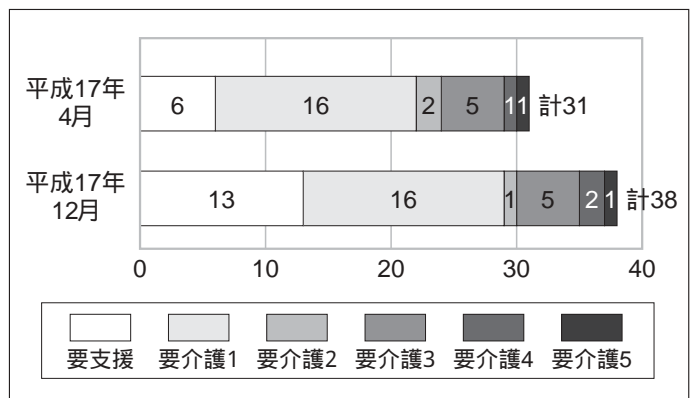
要介護(要支援)認定者数

(単位：人)



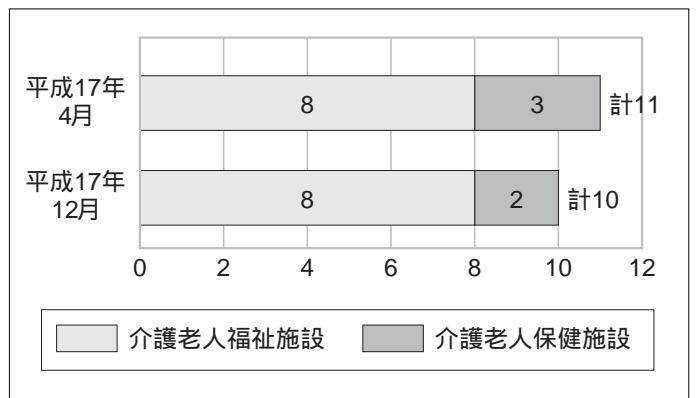
居宅介護(支援)サービス受給者数

(単位：人)



施設介護サービス受給者数

(単位：人)



施設入所の場合(一ヶ月間)

(単位：円)

	介護老人保健施設		介護老人福祉施設	
	自己負担額	保険給付額	自己負担額	保険給付額
要 介 護 1	25,000	225,000	20,000	180,000
要 介 護 2	26,000	234,000	22,000	198,000
要 介 護 3	27,000	243,000	24,000	216,000
要 介 護 4	29,000	261,000	27,000	243,000
要 介 護 5	31,000	279,000	29,000	261,000

上記の金額は、丹波山村の要介護認定者が入所されている、又は入所していた介護老人保健施設(2箇所)・介護老人福祉施設(4箇所)の基本料金の平均的な数値です。自己負担額は本人負担、保険給付額は介護保険会計から支出。居住費と食費は含まれません。



主なものは
丹波山村立へき地保育所
設置及び管理条例の制定
保育所入所児数は年々減少する状況にあるので、経費の合理化を図りながら保育基準の柔軟な無認可保育所（へき地保育所）に移行して保育業務を進めていくための条例です。

村議会12月定例会

村議会の12月定例会が12月21日に招集され、会期6日で審議されました。村長提出議案は13件ですべて可決されました。

別表1 学校施設使用料

施設名等	使用区分	金額(村外者)
丹波小学校校庭	午前6時から午後9時まで(1時間あたり)	450円
丹波小学校体育館	午前9時から午後6時まで(1時間あたり)	1,500円
丹波中学校校庭	午前6時から午後9時まで(1時間あたり)	750円
丹波中学校体育館	午前9時から午後6時まで(1時間あたり)	1,500円
使用時間	1団体3時間を限度とする	

丹波山村立小学校及び中学校施設使用料条例の一部改正
今までは丹波中学校校庭と中学校体育館の使用だけでしたが、丹波小学校校庭と小学校体育館も使用できるようにしました。使用施設と使用料は別表1のとおりです。

別表2 公民館施設使用料

施設区分		利用区分			
		午前	午後	夜間	全日
中央公民館	会議室	2,060円	2,260円	2,780円	5,870円
	和室	1,030円	1,230円	1,540円	3,290円
鴨澤公民館	会議室	1,000円	1,200円	1,500円	3,200円
	和室	800円	1,000円	1,300円	2,700円
保之瀬公民館	会議室	820円	1,030円	1,330円	2,780円
	和室	510円	720円	920円	1,850円
所畑公民館	和室	510円	720円	920円	1,850円
押垣外公民館	会議室	820円	1,030円	1,330円	2,780円
	和室	510円	720円	920円	1,850円

丹波山村公民館の設置及び管理に関する条例の一部改正
丹波山村四、九〇三番地の九にあった鴨澤第一分館を取り壊したことに伴い、条例の一部を改正しました。丹波山村の公民館は、中央公民館・鴨沢公民館・保之瀬公民館・所畑公民館・押垣外公民館

別表3 集会所使用料(奥秋・高尾)

施設区分		利用区分			
		午前	午後	夜間	全日
会 議 室		820円	1,030円	1,330円	2,780円
和 室		510円	720円	920円	1,850円

の五つになります。公民館施設利用料は別表2・3のとおりです。
平成十七年度丹波山村一般会計補正予算
歳入と歳出をそれぞれ一、三二八万二千円追加し、歳入と歳出の予算総額をそれぞれ十二億〇、三九五万四千円としたものです。歳入

備考 利用区分は、次による。午前は9時から正午まで。
午後は1時から5時まで。夜間は、6時から10時まで。
全日は、午前9時から午後10時まで。

は民生費国庫補助金（次世代育成支援対策）や教育費県委託金（スクールガードリーダー）、繰越金などの補正で、歳出は農林水産業費（林道測量設計委託）や商工費（特別会計繰出金）、消防費（防災無線免許更新委託ほか）などの補正が主なものです。

平成十七年度丹波山村

国民健康保険特別会計補正予算 事業勘定の歳入と歳出にそれぞれ一三八万三千円を追加し、歳入と歳出の予算総額をそれぞれ一億〇、九四一万二千円としたものです。歳入は国庫負担金や繰越金の補正で、歳出は保険給付費の療養諸費や高額療養費などを補正したのが主なものです。

平成十七年度丹波山村

水源の里保健休養施設 事業特別会計補正予算 歳入と歳出をそれぞれ六八〇万円追加し、歳入と歳出の予算総額をそれぞれ四、四八二万二千円としたものです。歳入は一般会計からの繰入金の補正で、歳出はつり場施設のアスベスト除去費用の補正です。

平成十七年度丹波山村

介護保険特別会計補正予算

歳入と歳出をそれぞれ四九二万二千円追加し、歳入と歳出の予算総額をそれぞれ七、四九九万二千円としたものです。歳入は総務費国庫補助金（介護システム改修費補助金）や繰越金などの補正で、歳出は保険給付費などの補正です。通所介護（デイサービス）や訪問介護（ホームヘルプ）などの居宅介護サービスを利用する認定者の増加などに対応した補正です。

保育所には「認可保育所」と「無認可保育所」があります

保育所に対して、国は、設備や面積、子どもの数に対する保育士の数、保育時間、災害時の避難路の確保など、いくつかの最低基準を定めています。公立、

私立を問わず、それらの基準を満たした保育所が「認可保育所」です。

しかし、地域や親の状況に応じて、最低基準を満たしていないけれども、日々保育に欠ける子どもを預かり、保育している施設があります。それらの保育所が「無認可保育所」です。丹波山村保育所は4月1日から「無認可保育所（へき地保育所）」として運営されます。

村議会第3回臨時会

第3回丹波山村議会臨時会が11月22日に召集され、会期1日で審議されました。村長提出議案は4件で、すべて人事院勧告に基づく国家公務員給与改定に伴い改正を必要とした議案で、すべて可決されました。

提案された議案

- 丹波山村議会の議員の報酬及び費用弁償等に関する条例改正
- 丹波山村長等の給与及び旅費条例改正
- 丹波山村教育委員会教育長の給与、勤務時間等に関する条例改正
- 丹波山村職員給与条例改正



スクールガードリーダー

この事業は、子供たちが安心して教育が受けられるよう、家庭や地域の関係機関・団体と連携しながら、学校の安全管理に関する取り組みを一層充実するために行われている事業の一環で、丹波山村では松木昭和さん（押垣外）が山梨県教育委員会教育長から「スクールガードリーダー」（地域学校安全指導員）に委嘱されました。



おつかれさまです

平成18年3月31日まで、不審者から子供たちを守り、安全で安心のできる学校が確立できるように丹波小学校の児童や学校施設などを対象に巡回していただきます。

平成17年度 上半期財政公表 (17年4月～9月)

一 般 会 計

平成十七年度上半期一般会計は、歳入が五億八、八三四万円の収入済額（収入率四十九・四％）となつています。その主なものは、村税の四、三〇七万五千円、地方交付税の四億五、五二万六千円等です。

歳出は、支出済額三億三、九八二万円（支出率二十八・五％）となつております。その主なものは、総務費の六、〇二四万三千円、公債費の一億一、一九四万七千円等です。

一般会計歳入状況 (H17.9.30現在 単位：千円)

科 目	予 算 額	収入済額	収入率 (%)
村 税	65,409	43,075	65.9
地方譲与税	10,125	3,513	34.7
利子割交付金	441	233	52.8
配当割交付金	171	53	31.0
株式等譲渡所得交付金	98	0	-
地方消費税交付金	8,452	4,664	55.2
特別地方消費税交付金	1	0	-
自動車取得税交付金	4,017	876	21.8
地方特例交付金	2,365	1,994	84.3
地方交付税	616,099	455,126	73.9
分担金・負担金	5,701	2,659	46.6
使用料・手数料	5,034	2,477	49.2
国庫支出金	10,412	1,192	11.4
県支出金	48,910	4,306	8.8
財産収入	659	552	83.8
寄付金	1	0	-
繰入金	143,000	0	-
繰越金	37,926	66,179	174.5
諸収入	117,951	1,441	1.2
村債	114,000	0	-
計	1,190,772	588,340	49.4

一般会計歳出状況 (H17.9.30現在 単位：千円)

科 目	予 算 額	支出済額	支出率 (%)
議 会 費	27,789	13,474	48.5
総 務 費	138,457	60,243	43.5
民 生 費	158,032	40,722	25.8
衛 生 費	76,686	12,308	16.0
農林水産業費	136,538	21,778	16.0
商 工 費	51,290	13,212	25.8
土 木 費	196,140	644	0.3
消 防 費	49,044	22,000	44.9
教 育 費	129,794	43,492	33.5
災 害 復 旧 費	2	0	-
公 債 費	224,500	111,947	49.9
諸 支 出 金	500	0	-
予 備 費	2,000	0	-
計	1,190,772	339,820	28.5



特別会計歳入歳出状況 (H17.9.30現在 単位：千円)

会 計 別	予 算 額	収入済額	収入率 (%)	支出済額	支出率 (%)
国民健康保険事業助定	108,029	28,044	26.0	39,382	36.5
国民健康保険直診助定	112,336	25,628	22.8	43,024	38.3
老人保健	148,250	61,626	41.6	49,813	33.6
簡易水道	64,958	3,940	6.1	15,900	24.5
水源の里保健休養施設	38,022	28,770	75.7	16,838	44.3
下水水道	222,871	9,716	4.4	91,088	40.9
有線テレビ放送施設	6,200	5,559	89.7	240	3.9
教育奨励資金	6,700	2,870	42.8	3,000	44.8
介護保険	70,080	28,509	40.7	26,003	37.1
温泉事業	175,300	104,298	59.5	64,542	36.8
計	952,746	298,960	31.4	349,830	36.7

平成十七年度上半期特別会計は、収入済額が二億九、八九六万円（収入率三十一・四％）、支出済額が三億四、九八三万円（支出率三十六・七％）となつています。なお、それぞれの歳入歳出状況は表のとおりです。

特 別 会 計

おめでとう!

新成人

一月二日(月)に中央公民館で華やかな振袖や真新しいスーツに身をつつんだ八名(男性五名・女性三名)の新成人を迎え、厳肅かつ晴れやかに「平成十八年丹波山村成人式」が行われました。

式典では、岡部村長をはじめ多数の参列者から心温まるお祝いの言葉や励ましの言葉がおくられ、成人としての新たな自覚を深くかみしめていました。式典後、久しぶりに顔を合わせた同級生と今の

様子や昔の思い出話に花を咲かせていました。
「成人の日」(一月九日)は、大人になったことを自覚してもらい自らの力で生き抜こうとする皆さんを励ます日として制定されています。丹波山村でも、将来を担う大切な新成人の皆さんを祝福し、今後の活躍を期待しております。新成人の皆さん、本当におめでとうございます。



酒井 亮さん



岡部 義仁さん



木下 圭輔さん



清水 和幸さん



守岡 利教さん



藤原ひろみさん



魚田 真央さん



河村さやかさん

今年の成人者が生まれた昭和60年は...

プロ野球日本シリーズで、21年ぶりにセリーグ優勝をした阪神タイガースがパリーグ優勝チームの西武ライオンズを破り初優勝をした年です。また、淡路島と四国を結ぶ大鳴門橋が開通、つくば博の開催、電電公社がNTTに、専売公社がJTに民営化した年でもありました。山梨県知事は望月幸明さん、丹波山村長は守屋幸夫さん、丹波山村の人口は1,149人でした。

のめこい湯 からのお知らせ

平成18年4月1日から
温泉の営業時間が
変わります。

営業時間 4月1日～11月30日 午前10時～午後7時
12月1日～3月31日 午前10時～午後6時
いずれも最終受付は閉店の1時間前となります。

定休日 毎週木曜日(8月は第4木曜日のみ定休日)
レストランは、温泉が営業の日はずべて営業

ほかにご不明な点がございましたら
丹波山温泉「のめこい湯」 ☎88-0026
まで連絡を下さい。

丹波山村消防団出初式

一月十五日(日)丹波中学校校庭において「平成十八年丹波山村消防団出初式」が盛大に行われました。

この冬は大変厳しい冷え込みの日々が続いていますが当日は、春を感じさせる暖かい青空の下、五十六名の団員が出動し訓練礼式や出初式でした。



通信班もがんばりました

平成十八年消防団出初式表彰者

山梨県消防協会乙種功労表彰

専任班長 小林 弘幸

専任班長 河村 直樹

班 長 木下 喜人

山梨県消防協会東部支部長表彰

班 長 山本 栄二

班 長 岡部 岳志

班 長 榎澤千代男

消防関係功労者

地域振興局長表彰

部 長 松島 信一

防犯協会上野原支部長表彰

班 長 橋詰 幸起

班 長 守岡 公壽

班 長 長谷川達弥



村を守ります

1月15日(日)に実施した「消防団出初式」では、お忙しいなか本当に多くの村民の皆様にご来場いただき、心からお礼申し上げます。また、たくさんのご芳志をいただき重ねて感謝申し上げます。皆様からのご芳志を大切に、今後の消防団活動に使わせていただきたいと思います。

消防団から

- 永年勤続功労表彰 団 長 船木 昭和
- 団長功績章 部 長 船木 伯
- 部 長 松島 信一
- 団長功労章 専任班長 小林 弘幸
- 専任班長 酒井由記夫
- 専任班長 河村 直樹
- 二十五年勤続表彰 班 長 橋詰 昭人
- 二十年勤続表彰 団 員 武井 明信
- 団 員 山田 英樹
- 十五年勤続表彰 専任班長 河村 直樹
- 精勤表彰 班 長 青柳 幸男
- 団 員 杉浦 宏治
- 団 員 岡部 英利

『国勢調査』にご協力ありがとうございました。

平成17年10月1日を基準日として、全国一斉に国勢調査が行われました。
 国勢調査は、日本に住んでいるすべての人を対象に行う大規模な統計調査で、大正9年(1920年)から5年ごとに行われており、今年で18回目を迎えました。

平成十七年国勢調査速報値が発表され、日本の総人口は一億二、七七六万人で、平成十六年十月一日の推計人口の一億二、七七八万人より二万人減少していることが判明しました。総務省は「今後変動も見込まれるものの、人口は減少局面に入りつつある」と分析し、いよいよ「人口減少時代」に突入しました。今後は国や都道府県・市町村の行政の基礎資料として少子高齢化への取り組みやむらづくりに活かされます。

さて丹波山村でも、九月下旬から十月上旬にかけて、総務大臣から任命された国勢調査員が各家を訪問し、調査票を配布・受領したところですが、集計結果がまとまりましたので報告します。

人口は男性三七〇人、女性四一〇人、合計は七八〇人で前回平成十二年の国勢調査時の八六六人から八十六人の減少となりました。この結果は丹波山村の今後の行政の基礎資料として活用される重要な調査資料となります。

平成17年国勢調査地区別人口と住民基本台帳人口 (単位:人)

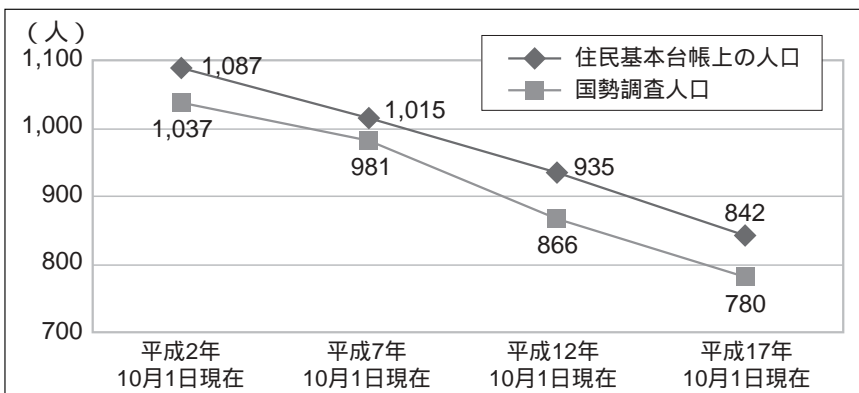
地区	男	女	総数	住民基本台帳人口
奥秋	70	74	144	147
上組	45	49	94	97
中組	31	30	61	74
下組	42	51	93	94
高尾	57	59	116	131
押垣外	42	56	98	111
保之瀬	35	38	73	79
東部	48	53	101	109
(所畑)	(14)	(9)	(23)	(22)
(鴨沢)	(26)	(38)	(64)	(73)
(小袖)	(8)	(6)	(14)	(14)
合計	370	410	780	842

(平成17年10月1日現在)

なお、丹波山村では住民基本台帳上の人口と国勢調査人口に差が生じています。これは、住所は丹波山村に置いてあり、実際は村外で生活している村民が多いことを意味しています。

国勢調査の結果は現在、ほとんどの都道府県や市町村、もちろん丹波山村も国から地方交付税交付金を受けています。この交付金は、各自治体間の

住民基本台帳人口と国勢調査人口の推移



の財政のバランスをとり、自主的に計画的な行政を運営するため、大きな役割を果たしています。

この交付額を算定するに当たり、地方交付税法(昭和二十五年法律第二十一号)第十二条で、国勢調査の結果による人口と世帯数を用いることが定められています。人口や世帯数が少なくなれば交付金も少なくなってしまうこととなります。

高齢者いこいの日

ミニミニ運動会

十月十五日(土)午後一時三十分から高齢者生活福祉センターで高齢者いこいの日「ミニミニ運動会」を実施し三十八名の参加がありました。

今年は村民体育祭が中止になったので、高齢者いこいの日で体を動かしていただくよう無理のない



両方とも「がんばれ～」

競技を考えて企画してみました。まずは入場行進をして赤組白組に分かれて応援合戦をしました。チームの輪ができたところで競技が開始され、パン食い競争や玉入れ、空き缶釣りリレーなどを全員参加で行いました。続々と珍プレーがあつて、笑い声が途絶えることなくにぎやかに競技が進み、最後にみんなで炭坑節を踊って終わりました。笑いがあつて、踊りがあつて、歌があつて、楽しい時間を過ごすことが出来ました。



みんなでリズム体操

高齢者いこいの日は、日頃会うことの出来ない友達と楽しく過ごすこと、また悩み事や寂しさを忘れていただき明るく元気になつていただくことを目的として実施しています。今後も防災無線や九チヤンネルで高齢者いこいの日の実施についての呼びかけをしますの、たくさんの方の参加をお願いします。

大きな声で歌おう

十一月五日(土)午後一時三十分から高齢者生活福祉センターで高齢者いこいの日「大きな声で歌おう」を実施し三十七名の参加がありました。

高齢者いこいの日では毎回、「いきいきクラブ体操」という体操をして体を動かして暖めてから実施しています。無理がなく音楽にあわせてリズムよく体を動かすことのできる体操で準備を整えてから今回も始めました。

「虫の声」「や」「たきび」「もみじ」など子供の頃に歌った歌や「うつけやんせ」「あんたはたどこさ」などの遊びをして、昔を思い出しながら楽しみました。鈴やカスタネット、笛なども使いオーケ

ストラに負けないくらい上手にできました。みんなで大きな声を出して歌を歌う機会がありませんので、今後もこのような企画をしていきたいと思えます。



楽しく歌いました

友禅小箱を作ろう

十二月十日(土)午後一時三十分から高齢者生活福祉センターで高齢者いこいの日「みんなで作る友禅小箱」を実施し三十四名の参加がありました。

きれいな模様の和紙を使ってティッシュケースを作る企画で、糊やセロハンテープを使って組み立てるセットを用意しました。簡単にできると思つて用意しました

が、組み立て始めると思っていた以上に難しく参加者は大苦戦をしていました。しかし次第に、手際よくスムーズに組み立てられるようになり教える側よりもきれいに早く出来てしまう参加者もいました。細かい作業で大変だったと思いますが、参加者全員が自分らしく、個性のあるティッシュケースを作ることが出来ました。



みんな一生懸命です

高齢者いこいの日では、今後も健康に関すること、高齢者学級、生涯学習等を取り入れて計画していきますので、この機会を友達づくりの場に活用していただきたいと思います。

こちら 丹波山村民生委員です

福祉施設を訪問しました

十一月十六日(木)に丹波山村民生委員協議会の研修会を実施しました。今回は、奥多摩町の特別養護老人ホーム三施設(琴清苑・寿楽荘・グリーンウッド奥多摩)と羽村市の特別養護老人ホーム羽村園、檜原村の特別養護老人ホーム松原苑の全部で五施設を見学してきました。

施設職員との情報交換会では施設の概要や方針内容などを細



みんなでニコニコ「はいポーズ」

かく説明していただき、入所者の一日の生活状況等を勉強しました。入所者の平均年齢が年々上昇していることによる寝たきり入所者の増加や認知症による日常生活の自立度の低下、入所者の問題行動に対応する介護者の悩み等、施設運営の難しさを実感しました。

またあわせて、五施設に入所している丹波山村の介護保険を使っている八名の方と面会し、日頃の生活状況や悩み事・心配事などをじっくりと話合ってきました。昔から知っている民生委員の顔を見て懐かしく涙をながす入所者や昔の丹波山村での生活を話しだす入所者、「丹波に帰りたくなった」と話す入所者など、さまざまな面会が見られました。

この研修会により、各施設の様子を知ることができ、施設とのつながりができたことは本当に実りがあったと思います。また入所者の話をじっくりと聞くことができたことは研修会の目的の最も重要な成果であったと思います。今

後も地域福祉のために様々な活動をし、必要に応じて村民の皆さんと福祉関係の行政機関との橋渡しを行い、解決に向けてお手伝いをしてまいります。

心配ごと相談所開設

丹波山村民生委員協議会では毎月一回、「心配ごと相談所」を開設しています。心配ごと相談所は、住民の日常生活のあらゆる相談に応じ、適切な助言・指導を行うことで地域住民の福祉の増進を図ることを目的としています。

村民の皆さんが、個々の福祉ニーズに応じた福祉サービスが受けられるよう関係行政機関、施設・団体等に連絡し、必要な対応を促すパイプの役割をつとめます。また村民の皆さんがかかえる問題について、相手の立場に立ち、親身になって相談のりります。

お気軽にご相談ください。

実施日 二月二日(木)・

三月二日(木)

実施時間 午後一時三十分から

午後三時三十分まで

実施場所 丹波山村高齢者生活福祉センター

丹波山村老人クラブ連合会

交流会

十二月一日（木）午前十時三十分から丹波山荘で、丹波山村老人クラブ連合会の交流会が七十二名の会員の皆さんに参加していただき盛大に行われました。

交流会が始まる前に、「高齢者の交通安全について」と題して、丹波駐在所警部補の武井清仁さん

の講演会を開催しました。高齢者が関係する交通事故が年々増加していること、散歩やジョギング時の注意事項、運転する時の確認事項などを丁寧に話していただき、交通事故に遭わないように勉強しました。

その後、大正琴の会「弦喜会」の皆さんによる発表会があり、「好きになつた人」や「風雪流れ旅」などの曲を演奏していただきました。音楽にあわせて全員で歌を歌ったり、踊り出す方もいて楽しく演奏を聴いていました。

「事務局、そろそろ飲もう」の一言で



▶ 食べる前に交通安全教室



本当にありがとうございました

交流会が始まり、松木昭和さんによる舞踊「滝の白糸」「武田慕情」「臉の母」「武田節」を踊っていたきました。「東京に行つて高いお金を払つて見るよりよっぽど良かった」「見ていて涙が出た」など、踊りが見れて良かったという内容の感想が多くあり、大きな拍手と歓声がありました。会員の皆さんのカラオケなどもたくさん聞けて和氣藹々としたあつたかい交流会でした。

子供たちを守るう

去年は広島県や栃木県で小学生が下校途中に殺害されるという痛ましい事件が相次いで発生しました。「都会の話だから丹波山村は大丈夫。」とは言えない状況になっております。

国では「登下校時の児童の安全確保等に関する関係省庁連絡会議」が設けられ、対策が検討されていますが、丹波山村の子供たちを守ることは学校だけではなく私たち地域の住民です。

丹波山村老人クラブ連合会では、子供たちの登下校時における安全を確保することを目的に見守り活動の一層の充実を図り、登下校時間帯に通学路を散歩していただくことを会員の皆様にお願しているところです。どうかこの活動を地域全体に拡大し、みんなで子供たちを守っていきたいと思います。村民の皆様のご協力をお願いします。

なお、時間帯（小学校）は
 登校時間 午前七時三十分～午前八時三十分の間
 下校時間 月・水・金曜日は午後三時～午後四時の間、火・木曜日は午後二時～午後三時の間

ありがとうございました

赤い羽根 共同募金運動

赤い羽根がシンボルマークの「共同募金運動」は、一九四七（昭和二十二）年から始まりまし
た。その当時は、第二次世界大戦
が終わったばかりで、家を焼かれ
たり、両親がけがをしたり亡くな
ったりした子どもたちがたくさん
いました。そこで、困っている人
たちのために、みんなで助け合っ
ていこうと、赤い羽根募金が日本
中でおこなわれ、今回で五十九回
目を迎えました。

全国いっせいに募金を行うた
め、厚生労働大臣の告示によつ
て、募金期間が決められ、平成
十七年十月一日から十二月三十
一日までの三ヶ月間、多くの募

金ボランティアのご協力のもと、
赤い羽根共同募金運動が行われ
ました。

丹波山村では、丹波山温泉「の
めこい湯」・丹波山村役場・農林
産物直売所・JAKクレイン丹波山
支店・丹波山村高齢者生活福祉セ
ンターに募金箱が設置され、村民
の皆様のご理解とご協力により募
金活動を実施しました。また、十
二月には歳末たすけあい募金とし
て地区の民生委員の皆さんの協
力により各家庭を訪問させていた
だき、たくさんのおたがいが心
こめられた募金をいただき、この
期間中に三二二、一〇〇円を集め
ることができました。本当にあり
がとうございました。

この募金は高齢者・障害者施
設、保育所、子どもの遊び場など
の整備や、一人暮らしのお年寄り
のための食事会、福祉運動会な
ど、「社会福祉」に大変役立てら
れています。

- ・ 募金でこんなことができます。
- ・ 十万円
 - 障害者やお年寄りのための車
 - いす一台の購入
- ・ 二五〇万円
 - 目の不自由な人のための盲導
 - 犬一頭の育成

コミュニティ助成事業

（財）自治総合センターに申請してました
「コミュニティ助成事業助成金」が山梨県富士
北麓・東部地域振興局経由で助成決定通知が
あり早速、生活関連道路や消防道・ヘリポー
ト等の除雪のための除雪機3台と生活関連道
路の整備に使用する草刈機2台を購入しまし
た。事業費総額は1,464,500円でそのうち
1,400,000円は助成金、残りを村の財源で対
応しました。

この事業は、宝くじの普及及び広報を目的
として各種の事業を支援しているもので、丹
波山村では平成15年度に鴨沢地区自主防災
組織に「育成助成事業」として鴨沢地区各戸
に戸別受信機を設置することができました。
また、平成16年度には「ふるさと消防団活

性化助成事業」として消防団に災害時用テン
トと「一般コミュニティ助成事業」として中
央公民館等に机・椅子を整備することができ
ました。

宝くじの収益金は丹波山村でも大切にに使わ
れ役立っています。



雪が降っても大丈夫



宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に
設立されています。



ゆいっこ学級



ゆいっこ学級は、保育所児と高齢者の交流を促進し、楽しみながらふれあい、人とのつながりを大切に思う心を育てていくことを目的として実施しています。「結い(ゆい)」とは、相互扶助を意味し、互いに助け合いながら生活していくことを意味します。

昔の人々が自然に当たり前に行っていた行動が、今は丹波山村でも無くなりつつあるように思われます。だからこそ、今「ボランティア精神」をみんなが持ち、『人とのつながり』を大切にしていける必要があります。

フラワーアレンジメント教室

10月27日(木)午前9時30分から丹波小学校体育館和室で「フラワーアレンジメント教室」を実施しました。講師には、あきる野市の並木三保子さんをお願いし、自分自身の感性次第でどのようにでも花を活けることができるフラワーアレンジメントの楽しさを親切にわかりやすく教えていただきました。

保育所児たちも一生懸命がんばっていました。時間がたつにつれ、子供たちと高齢者の方々との会話が始まり、子供たちの意見を参考にしながら花の場所を変えてみたり、おじいちゃんおばあちゃんの子供の頃の話聞いてみたり笑い声も聞かれるようになりました。教室が終わるころには、和やかな空気に包まれていました。



みんなきれいにできました

正月用しめ飾り教室

11月29日(火)午前8時30分から高齢者生活福祉センターで正月用の「しめ飾り教室」を実施しました。当日は高齢者21名と保育所児7名の合計28名が参加し、しめ飾りの作り方を勉強しながら作品を一つ一つ丁寧に作りました。講師にはクレイン農協の藤本光代さんをお願いしました。毎年しめ飾りを作っている参加者は手際よく作品を作りながら、はじめてしめ飾りを作る参加者にも親切に指導していました。



◀ みんなでできるかな



おつかれさまでした

この事業は、出来上がったしめ飾りを80歳以上の一人暮らし世帯・80歳以上の夫婦世帯・生活保護世帯等の希望者に配布する事業で、希望者を募ったところ30世帯からの希望があり、参加者は休む暇もなく作り続けました。結局、出来上がったのは午後3時過ぎになり、参加者もかなり疲れてしまった様子でした。

この日に出来たしめ飾りは、12月10日(土)に希望者に手渡されました。

がんばってます! 「丹波っ子」

丹波小学校

第51回青少年 読書感想文コンクール

地区入選

低学年の部

青柳 龍宙くん(下組)

中学年の部

木下 未希さん(奥秋)

高学年の部

岡部 若菜さん(東部)

平成17年度夏休み理科自由研究

地区入選

5年 岡部真優子さん(押垣外)

4年 井坂 和広くん(高尾)

平成17年度教育祭図工美術大会

県特選

1年 廣瀬 友作くん(押垣外)

2年 木下 美里さん(奥秋)

3年 土屋 愛里さん(中組)

5年 三宮 大和くん(押垣外)

6年 岡部 若菜さん(東部)

地区入選

1年 芦澤 広規くん(奥秋)

2年 木下 真実さん(奥秋)

3年 廣瀬 太一くん(押垣外)

4年 田中 瑞紀さん(下組)

4年 芦澤 南菜さん(押垣外)

5年 木下 光くん(奥秋)

6年 白木 有希さん(上組)

2005年夏休みの友 紹介図書感想文コンクール

優秀

6年 白木 有希さん(上組)

丹波中学校

読書感想文北都留地区コンクール

地区入選

3年 白木 琢也くん(上組)

北都留支部新人大会 ソフトテニスの部(個人戦)

第3位

2年 岡部 咲さん(奥秋)・

岡部登志子さん(東部)ペア

第28回J A 共済全国交通安全 ポスターコンクール山梨県大会

山梨日日新聞社賞

2年 井坂ゆかりさん(高尾)

北都留英語暗唱大会

第3位

3年 木下 優也くん(奥秋)

第4位

2年 岡部登志子さん(東部)

大月税務署管内納税貯蓄組合 連合会「税についての作文」

金賞

3年 白木 琢也くん(上組)

第55回県下小中学校教育祭 図工・美術展

県特選

3年 木下 優也くん(奥秋)

2年 田中 志歩さん(高尾)

1年 岡部 杏利さん(押垣外)

地区入選

3年 田中 綾さん(高尾)

2年 井坂ゆかりさん(高尾)

2年 岡部 咲さん(奥秋)

第51回山梨県 読書感想文コンクール

特選

2年 井坂ゆかりさん(高尾)



広報丹波山が 今年も 奨励賞

1月17日(火)に山梨県広報コンクール合同審査会が行われ、「平成17年度山梨県広報コンクール」の審査結果が発表になり、丹波山村からも「広報丹波山10月号」を広報紙「町村の部」に提出したところ、昨年に続き「奨励賞」をいただくことになりました。

今後も村の情報をできる限りわかりやすく提供できるようにがんばりますので、情報提供等応援をよろしくお願いします。

健康教室

丹波山村国民健康保険診療所では毎週火曜日午後七時三十分から各地区の公民館等で十一月・十二月の二ヶ月間、健康教室を実施しました。

十一月一日(火)に実施した東部地区住民を対象とした健康教室では十二名の参加者があり、医師の古屋貞男先生による「高血圧症」についてわかりやすく説明していただきました。塩分の取り過ぎなど高血圧症となる原因を解説していただき、高血圧症でない方の予防・対策と高血圧症になつてしまった方の高血圧症と上手に付き



高血圧に負けないで

合つていく方法を時間をかけて丁寧に参加者に説明してまいりました。参加者から、血圧の測り方や血圧に関する質問や薬の飲み方やインフルエンザについての質問、今後このような健康教室を開催してほしいという要望などもあり村民の健康に対する関心の高さがわかりました。健康教室は八地区すべてで行われました。

開催日	対象地区	開催場所	参加人員
11月1日(火)	東部	鴨沢公民館	12名
11月8日(火)	保之瀬	保之瀬公民館	19名
11月15日(火)	押垣外	押垣外公民館	13名
11月22日(火)	高尾	高尾集会所	25名
11月29日(火)	上組	丹波小学校体育館下和室	14名
12月6日(火)	中組	丹波小学校体育館下和室	19名
12月13日(火)	下組	丹波小学校体育館下和室	22名
12月20日(火)	奥秋	奥秋集会所	23名
合計	8地区	8会場	147名

男性・高齢者の料理教室

十月五日(水)鴨沢公民館で東部地区住民を対象とした「男性・高齢者の料理教室」を丹波山村食生活改善推進員の皆さんのご協力により開催しました。

料理に慣れていただくことや自分の食生活に関心を持つていただくこと、健康の維持増進を図っていただくことを目的に、ひとり暮らしの方や料理経験のない男性などに参加を呼びかけたところ、十一名の参加があり、簡単にでき栄養があつておいしく食べられる料理(栗ごはん・白身魚のホイール焼き・キャベツとベーコンの中華風



おいしくな~れ

スープ・ジャガイモと明太子の炒め物など)を一時間で作りました。包丁を久しぶりに使った方や炒め物をしたことがない方など、料理をあまりしていない方が多かつたなか、手際がよく「日頃から料理をしているな!」と思われる方も数人いて、笑い声が聞こえる楽しい料理教室でした。

今は「男子、厨房に立たず」という時代ではなく、「男子も厨房に立つ」時代です。村民みんな楽しく健康に栄養バランスを考えたい食生活を心がけましょう。



日頃から料理をしているのかな?

ご寄付

ありがとうございます ございました

丹波山村のために
二百万円 矢ヶ崎幸夫 様

丹波小学校及び
丹波中学校教育のために
二十万円 木下 喜松 様

丹波山村のために
三十万円 岡部 伴作 様
十万円 細屋 久忠 様

丹波山村老人クラブ連合会
のために
十万円 細屋 久忠 様

東京都武蔵村山市にお住まいの矢ヶ崎幸夫さん(平成16年にお亡くなりになりました矢ヶ崎カクノさんの長男)から、土地をご寄付くださいました。ご寄付いただいた丹波山村古寺4882番5と丹波山村権現山4923番8はいずれも地目が宅地になっていて、面積があわせて188.82㎡の土地です。村では今後有効に活用させていただくよう現在検討中です。

また、丹波山村のために役立ててほしいと200万円のご寄付もありました。

本当にありがとうございますございました。大切に使用させていただきますと思います。



ありがとうございました

芥川龍之介やアーネスト・サトウが宿泊した村等の内容で、丹波山村を紹介した『山梨・まち「見物」誌ランデブー』を甲府市の㈱コミヤマ工業さんが四三〇冊ご寄付くださいました。



交通安全教室

10月4日(火)小菅村保育所で「交通安全教室」が実施され、丹波山村保育所児(7名)も参加することができました。



絶対に約束を守ろう

人形劇と腹話術により交通安全についてわかりやすく子どもたちに説明してしました。

交通量の多くなる季節になり、道路を歩いたり、横断したりする時には今まで以上に注意をしなければなりません。「道路で遊ばない」「道路を横断するときは右左の確認をする。」「道路に飛び出さない」など、大きな声で元氣いっぱい約束してくれました。

大月税務署から

申告書はご自分で書いて提出はお早めに

所得税の申告と納税は、

二月十六日(木)～

三月十五日(水)まで

贈与税の申告と納税は、

二月一日(水)～

三月十五日(水)まで

個人事業者の消費税及び

地方消費税の申告と納税は

三月三十一日(金)まで

もうすぐ確定申告の時期になります。

大月税務署では、「申告書は自分で書いて提出はお早めに」をキヤッチフレーズに確定申告書の自書申告と早期提出を推進しております。三月に入りますと、税務署は大変混雑しますので、早めの申告にご協力ください。

確定申告をしなければならぬ人は次のような場合の方です。

一般の方

事業を営んでいる方、不動産所得などがある方、不動産やゴルフ会員権及び株式等を譲渡した方などで、平成十七年中(一月～十

二月)の各種所得金額の合計額から所得控除(基礎控除や扶養控除、配偶者控除など)を差し引いた金額を基礎として計算した税額が定率減税額などの合計額より多い方

給与所得のある方

給与収入が二〇〇〇万円を超えている方

給与を一カ所から受けている方で、給与以外所得が二十万円を超える方

給与を二カ所以上から受けている方で、従たる給与の収入金額と給与以外所得との合計額が二十万円を超えている方

雑損控除、医療費控除、住宅借入金等特別控除などを受けることができる方、また平成十七年途中で退職して年末調整を受けなかった方

このような場合に該当される方は確定申告をしなければなりません。

給与所得や年金所得のある方は

役場総務住民課に、給与所得・年金所得・農業所得・不動産所得のある方など、平成十七年中に所得があった方は丹波山村商工会にご相談ください。

確定申告の期限を過ぎてしまうと納めなければならない税金の他に加算税や延滞税を納めなければならない場合がありますので申告は正しく早めに済ませるようお願いいたします。

「ご来署する際にご用意していただくもの」

- ・平成十七年分の「署から送付された申告書」、「収入金額・必要経費・所得金額のわかるもの」、「源泉徴収票」、「国民健康保険の領収書」、「国民年金及び国民年金基金の掛金の支払をした旨を証する書類」、「生命保険料・損害保険料等の各種控除の支払をした旨などを証する書類」
- ・平成十六年分の申告書・収支内訳書等の「控」
- ・「印鑑」、「計算器具」及び「筆記用具」

・選付申告の方は、申告者ご本人名義の振込先金融機関の口座番号がわかるもの
お問い合わせは

大月税務署

☎0554 22 3151

丹波山村商工会

☎0428 88 0444

役場総務住民課

☎0428 88 0211

税理士会(大月支部)が行う小規模納税者の方などの確定申告無料相談

月 日	時 間	会 場
2月16日(木)	10:00～12:00	上野原市
3月2日(木)	13:00～15:00	もみじホール

事業所得、不動産所得及び雑所得の合計が300万円以下の方、又は、消費税の課税事業者で基準期間の課税売上高が3,000万円以下の方が対象です。年金受給者及び給与所得者の方(譲渡所得のある方を除く。)も対象となります。

消費税・年金受給者の確定申告書作成についての説明会

月 日	時 間	会 場
2月8日(水)	10:00～12:00	大月市民会館
	13:00～16:00	
2月9日(木)	10:00～12:00	上野原市
	13:00～16:00	もみじホール



「貸します詐欺」に
「ご注意ください」

最近、大手金融機関などを装って「お金を貸します」といった内容の偽者ダイレクトメールや携帯メール等を送りつけて、保証金や保険金名目でお金を騙し取る新しい手口が急増しています。このような詐欺行為を「貸します詐欺」といいます。

東京都では、警察庁・警視庁や金融庁、全国組織の金融関係十二団体とともに「金融機関等詐称被害に関する連携会議」を立ち上げ、共同して注意喚起のキャンペーン

を行うこととなりました。

東京都に寄せられる苦情相談の八割以上が東京都以外の全国からのものになっており、丹波山村の村民の方々もこうした詐欺被害にあわないように十分注意してください。

騙されないための心構え

- ・取引関係のないところから突然送られてくるダイレクトメールや掲載メール等に注意
- ・融資をする前に、様々な口実でお金を振り込まそうとする手口に注意

「貸します詐欺」かもしれないと感じたら、送金の前

東京都貸金業対策課

☎03 5320 4775

に問い合わせください。

自衛官の募集について

自衛隊山梨地方連絡部では次のとおり自衛官の募集を行っています。

二等陸海空士(男子)

陸上(技術系は除く)は二年、海上航空は三年を一任期として任用(以降二年を一任期)資格

日本国籍を有し、十八歳以上二十歳未満の男子

受付期間

年間を通じて行っております。

問い合わせ先

自衛隊山梨地方連絡部

☎055 253 1591

大月募集事務所

☎0554 22 1298

山火事予防運動

大月林務環境部では平成十七年十二月五日〜平成十八年五月十二日まで山火事予防運動を実施しています。特に空気の乾燥するこの季節は、山仕事や登山などで山に入られる方、森林の付近で農作業等を行っている方等は、山火事防止についてご協力をお願いします。

花粉症について

花粉症は花粉によって生じるアレルギー疾患の総称であり、主にアレルギー性鼻炎とアレルギー性結膜炎が生じます。

推定される患者は、国民のおよそ16パーセントと考えられています。花粉症の原因の約70パーセントはスギ花粉症だと推察されています。スギの花粉は雄花の中で作られ、花粉が完成するのは10月中旬です。年を越して暖かくなり始めると雄花は開花して花粉が一斉に飛び始めますので、このころからスギ花粉症の症状が現れます。

花粉症の治療は対症療法と根治療法がありますが、治療を季節前から行うとより効果的といわれています。医療機関に相談して適切な治療を行いましょう。約5割から6割の人がほとんど花粉症の症状がなく暮らすことが可能です。

花粉症の予防は防御器具(マスク・めがね等)が有効です。また、粘膜を傷つける「たばこ」は避けましょう。規則正しい生活やバランスのとれた食事、掃除を励行するなど、室内環境をきれいにすることも大切です。

健康で若々しく長生きするために

健康生活チェック

毎年定期的に健康診断を受けていますか。	(はい・いいえ)
健康診断で注意されたことについては、気をつけていますか。	(はい・いいえ)
健康診断で精密検査が必要と指示された時は、必ず、精密検査を受けていますか。	(はい・いいえ)
既に治療中のものや、治療が必要と云われた時は、医師の指示に従い、治療を受けていますか。 (薬はきちんと服用していますか)	(はい・いいえ)
外出することは好きですか。 (今日出かけてくるのが億劫では、ありませんでしたか)	(はい・いいえ)
人と話をするのが好きですか。	(はい・いいえ)
一日一回は外に出て良い空気を吸ったり、散歩や運動をしますか。	(はい・いいえ)
新聞やテレビ等をみるのが好きですか。 (スポーツ、ニュース、世の中の動き)	(はい・いいえ)
人前に出るときはおしゃれをしますか。	(はい・いいえ)
何か趣味がありますか。 (カラオケ、短歌、俳句、絵、習字、ゲートボールなど)	(はい・いいえ)
食事はバランスよく、とり過ぎないように気をつけていますか。	(はい・いいえ)
規則正しい生活を心がけていますか。	(はい・いいえ)

健康生活チェック・判定のめやす

「はい」の回答数	判 定 内 容
12項目全て	望ましい健康生活です。これからも引き続き頑張ってください。
9～11項目	良好と云えますが、これからは、全てが「はい」となるよう心がけて下さい。
6～8項目	まあまあ良好と云えますが、1つでも多く「はい」となるよう心がけて下さい。
0～5項目	日常生活を見直し、健康生活へと改善して下さい。

あなたの判定はいかがでしたか???

全ての項目で「はい」と答えられるような、より良い健康生活を送るよう心がけて下さい。

チームマイナス6%って何!

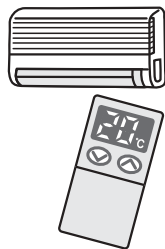
今、地球の気温はどんどん上昇しています。これは、おもに人間の活動によって温室効果ガスが増えているためです。温室効果ガスが増えると、太陽によってもたらされた熱を逃がさず、地球はどんどん暖められます。これが地球温暖化です。特に、二酸化炭素は、温室効果ガスの中で、地球温暖化に最も大きな影響を与えています。二酸化炭素は、石油や石炭などの化石燃料を燃やすことによって発生し、私たちの生活の中からも、毎日出ています。

深刻な問題となっている地球温暖化。この解決のために世界が協力して作った京都議定書が平成17年2月16日に発効しました。

世界に約束した日本の目標は、温室効果ガス排出量6%の削減。これを実現するための国民的プロジェクト、それがチーム・マイナス6%です。チーム・マイナス6%では、CO₂削減のための6つのアクションプランを設定しました。

1. 温度調節

夏、エアコンの寒さのために体調を崩す人がいます。そもそもおかしな話だと思いませんか。みんなが服装にちょっと気を使うだけで、これは解決できることです。



環境省では地球温暖化防止のため、冷房は28℃に設定することを呼びかけています。また冬は、20℃に設定することを呼びかけています。“寒い時は着る”“過度に暖房機器に頼らない”そんな原点に立ち返り、“暖房に頼り過ぎず、働きやすく暖かく格好良いビジネススタイル”それが「ウォームビズ」です。

2. 水道

例えばシャワーを1分間出しっ放しだと、なんと10リットルにもなります。家族3人では、1人1分間で30リットル、ペットボトル15本分のムダになっている計算です。しかも、水だけでなく、ガスや電気を使ってわざわざお湯にしたものを、じゃぶじゃぶ捨てているのです。頭を洗っているときなど、必要のない時にはこまめにシャワーを止めることが大切です。水道の蛇口はこまめに締めましょう。

3. 自動車

駐車時のアイドリングを、無意識のうちにしていませんか? アイドリング時にも、ガソリンは1

分あたり約0.014リットルが消費されています。1日5分のアイドリングを止めたとすると、年間20時間(240日として)。特に仕事などで車を頻繁に使われる方ほど、削減量も大きくなります。もちろんその分ガソリン代も節約になります。駐車中は、エンジンをオフにしましょう。

4. 商品

新しく家電製品を買うときに、ぜひ注目して欲しいのが「省エネ性能」。エアコンや冷蔵庫などは省エネ性能の表示も普及し、購入の際の目安になっています。中には、年間電気料が数万円単位で違うこともあり、特に古い機器を使い続けている場合、買い替えコストと電気代を比べてみると、愕然とする数字が出ることもあります。

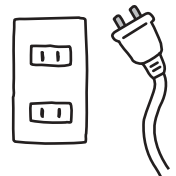
冷蔵庫やエアコンを買い替えの際には、忘れずにチェックしてみてください。

5. 買い物

1人が1年間で使用する手提げ袋は、なんと300枚。買い物際には専用のバッグをひとつ用意しましょう。ふだんのお出かけの際には、小さく折りたためるバッグを常に携帯しておけば、買い物袋は不要になります。自分の買い物バッグを持つことも、地球温暖化防止に大変役立つ取り組みです。

6. 電気

電気製品を使用していないときに、タイマーなどのために消費される電力が待機電力。ビデオデッキ、オーディオコンポ、テレビ、電子レンジなどが代表的です。そしてその合計は、家庭の電力消費のなんと10%にもなっている場合があります。ここまでいくと「少しくらい」とも言っていない数字です。対策としては、使っていないときに電源コンセントを抜くことが大切です。少し面倒ですが、まずは使用頻度の低いものからやってみましょう。スイッチ付きコンセントの活用なども便利です。



一人ひとりの力はそれほど大きくないかもしれませんが、一人ひとりの行いは、ちょっとしたこともかもしれません。でも、それがチームとなって結集すれば、地球規模の大きな力になります。「チーム・マイナス6%」。このことばには、そんな思いが込められています。

秋の大収穫祭



みんなおいしそう

丹波山村農林産物直売グループでは、11月3日(木)の「文化の日」に、農林産物直売所前で『秋の大収穫祭』を実施しました。

この催しは、本格的な農産物の収穫期になり、また紅葉シーズンとも重なったこの時期に、農林産物生産者が直接販売することにより、「顔」の見える販売を推進することを目的に実施されたものです。

当日は暖かい秋晴れの中、大勢の村内者・村外者に白菜やサトイモ・さつまいもなど丹波山村で収穫された農産物を購入していただきました。また、農林産物の購入者にはけんちん汁や手打ちそばをサービスし、「気持ちまで暖かくなりました」「いい思い出になりました」などの意見が聞かれました。

クリスマスお楽しみ会

12月17日(土)に、丹波山村保育所児による「クリスマスおたのしみ会」が中央公民館で行われました。

4歳児のすみれ組さん、3歳児のもも組さんあわせて7名の子どもたちが一生懸命歌を歌い、にこやかに踊り、会場に詰めかけた保護者の皆さんや村民の皆さんに発表していました。大きな声を出して元気よく歌う子ども、恥ずかしくて顔が真っ赤になりながらがんばっている子ども、「あれ、踊りを忘れちゃったかな。」でも一生懸命さがわかる子どもなど、子どもたちそれぞれに個性があり、見ているお客さんを和ませる本当に温かいクリスマスおたのしみ会でした。

また、子どもたちのうたやおゆうぎと並んで今回(今回は「花咲じいさん」)も力が入っていたお楽しみ劇場では、保護者のお父さん・お母さんと有志による「こぶとりじいさん」が演じられました。最初から最後まで爆笑爆笑で「丹波にも役者がいるな~」「今までのイメージとは違う人なんだ~」「クリスマスお楽しみ会だけではもったいないな~」など、さまざまな言葉が飛び交っていました。

外は厳しい寒波による寒い日でしたが、会場は子どもたち、保護者の皆さん、先生方が一つになったとても温かいクリスマスお楽しみ会でした。



なかよく歌えたね



おもしろかった「こぶとりじいさん」

お松引き

新春を祝う1月7日のお松引きが、厳しい寒さのなか奥秋地区、高尾地区、押垣外地区、丹波地区で行われました。各家々に飾られた門松をそれぞれの集積所に運び修羅（Y字型の木ぞり）の上に積み上げ山車をつくり、「今年も良い年になれよ～」と願いを込めて「ヨーイサ・ヨーイ」と木遣り音頭にあわせて引き回しました。

「今年は去年より山車の大きさが小さくなってあるな～」という声や「今年も人手が少ないな」という声が聞かれた地区があったり「今年も子どもたちが大勢でにぎやかで良かった」や「気持ちよくお酒が飲めたので威勢良く引き回すぞ」といった声が聞かれた地区などさまざまでした。丹波地区のお松引きでは村内の参加者以上に村外からの参加者が多く、「この祭りを楽しみにしている」と毎年来ていただいている観光客も多かったようです。

また、丹波山村商工会の会員の皆さんによるけんちん汁が無料で配布され、冷え切っている体をぽかぽかにしてくれるうれしいサービスもあり参加者も大変喜んでいました。

丹波山村の大切な伝統行事をこれから先も続けていきたい。そう願いながら「エンヤラヤー」とお松を引いていた方も多かったと思います。



丹波地区



押垣外地区



高尾地区



奥秋地区

また、1月14日に各地区でお松焼きが行われ、まゆ玉をお松焼きの火で焼いて食べる方や魚を焼いた地区、肉を焼いた地区、お酒がいっぱい振る舞われた地区など、地区ごとに楽しく行われました。

もうすぐ 三月です

今年の冬は、今まで経験したことのない非常に厳しい寒さが続き、日本海側では雪による事故が相次ぎ、積雪量の記録を塗り替える場所も数多くあり、日本中が冷凍庫に入ったような本当に寒い冬でした。

今後寒い日が続くことが予想されますが、散歩をしているときとつが「もうすぐ春だよ」と言っているように頭を出していました。もうすぐ三月になります。「春」の季節を体全体で感じられる日々がもうすぐやってきます。寒さが続くのもあと少しなので風邪などに十分注意してください。さて三月といえば「卒業シーズン」ですが、丹波山村でも小学校・中学校で「卒業式」が行われます。

丹波中学校では三月十四日(火)に「卒業式」が行われ六名が義務教育九年間を終了し、それぞれの道を歩き始めます。慣れ親

しんだ同級生と離ればなれとなり、寂しく思う事もあると思いますが、四月からは新しい出会いが待っています。今後もぜひ、がんばってください。

丹波小学校では、三月二十二日(水)に「卒業式」が行われます。今年の卒業生は四名で、長年通い続けた小学校を卒業し、四月から新しい学生生活が待っている丹波中学校へ入学します。

それぞれ小学校・中学校の生活が残りがなくなりましたが、精一杯楽しんでたくさんの思い出を作っていただきたいと思います。

丹波中学校「卒業式」は
三月十四日(火)です

丹波小学校「卒業式」は
三月二十二日(水)です

- 田中 志歩さん(高尾)
- 白木 琢也くん(上組)
- 田中 綾さん(高尾)
- 河村 紘大くん(下組)
- 木下 優也くん(奥秋)
- 吉野 智博くん(東部)
- 岡部 若菜さん(東部)
- 武井 猶晃くん(中組)
- 田中 萌さん(高尾)
- 白木 有希さん(上組)

いつもニコニコ 元気 です

がんばりました「ウォークラリーチーム」

11月11日から5日間の日程で、「第18回全国健康福祉祭り福岡大会」が福岡県太宰府市ほかで開催されました。

丹波山村からは、ウォークラリーチーム(チーム名「飛龍山梨」)が山梨県代表として参加し、見事6位入賞を果たしました。また、坂本千代江さんが「最高齢者賞」に選ばれました。本当におめでとうございます。

坂本千代江さん・船木タマノさん・坂本フジエさん・青柳エガノさん・橋詰君枝さん



課 民 住 務 総 務 課 係 戸 籍 係 だ す

平成17年10月1日から平成18年1月27日までに受理したものです。(敬称略)

おくやみ ご冥福をお祈り申し上げます

- ・岡部キサノ 97歳(保之瀬)
- ・岡部 久男 92歳(東 部)
- ・細屋よしい 78歳(上 組)
- ・木下カル子 90歳(奥 秋)
- ・濱本キシ野 84歳(奥 秋)
- ・青柳 キミ 69歳(押垣外)